

奈良革新懇

平和・民主・革新の日本をめざす奈良の会（奈良革新懇）
〒630-8213 奈良市登大路5-5 奈良県教育会館内

【携帯】080-4243-6370 【E-mail】tukasa55122000@yahoo.co.jp

全国革新懇ニュース 469号（奈良版）
《発行》平和・民主・革新をめざす全国の会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8
千駄ヶ谷尾澤ビル

2025年5月号

220号



激動する情勢をどうみるか

— 新しい政治を実現するために — (上)

全国革新懇代表世話人 五十嵐仁さん

五十嵐仁さんの講演記録

2025.4.12
奈良革新懇主催
情勢連続学習会
第1回

区切りの年としての

2025年

今年が区切りの年です。「戦後80年」「被爆80年」「治安維持法が制定されてから100年」——こういう区切りは、過去から見ての区切りです。同時に、未来に向けての新しい区切りの年になるのではないのでしょうか。未来のある時点で、「あの年こそが、この日本や世界が大きく変わった出発点になった年だった」というふうに戻られる2025年にしようではありませんか。

石破政権はなぜ倒れない？

岸田さんの跡を継いだ石破さん。倒れるように倒れません。なぜ倒れないのか。

野党は、実は倒したくないのです。野党は衆議院では多数ですが、参議院ではまだ多数ではありません。だから、野党が政権をとることができたとしても、やはり「ねじれ」になり、参議院で足を引っ張られて何も決まりません。

もう一つの理由は、7月の参議院選挙です。この参議院選挙で、石破さんが相手だったらたかいたかやすいのではないかと野党は腹の中で思っているのです。石破さんに代わる人が出てきて、あれよあれよという間に支持率が上がったら困るし、今の石破さんならたかいたかすいと思っっているのでしょう。

石破さんは、「私が総理大臣になった時は自民党が危機に陥った時だろう」とかねがね言っていました。自民党が危機になり、本当にそうなってしまいました

た。火中の栗を拾うように。

自民党の中ではみんな火中の栗を拾いたくありません。だから、しばらく石破にやらせておけというのが自民党の思惑です。石破さんの支持率は毎日新聞で24%、朝日新聞で26%。これは岸田さんの時と同じです。2割台の低空飛行を続けているけれど倒れないのはそういう理由です。大やけどする可能性があるから、石破ならそれでもいいかとみんな思ったのでしょね。

決戦と転換の今度の参院選

参議院選挙で自民党が苦戦することはほぼ確実です。参議院でも自公が過半数を割るということになれば、衆参両院で過半数を割って本格的な政権交代が視野に入ってくるようになります。そうなるにつれて、秋の臨時国会がひとつの焦点になります。

与野党の対決が激化すれば、臨時国会の最終盤に内閣不信任案が出て、総選挙になります。本格的な政権交代が



五十嵐仁さんのプロフィール

1951年生まれ、新潟県出身。法政大学名誉教授、全国革新懇代表世話人、労働者教育協会副会長。専門分野は政治学・労働問題。

争われるということになります。もしもその総選挙で野党が勝てば、本格的な政権交代です。日本の政治が大転換する、転換の年になります。

トランプの再登場

アメリカで新しい大統領のトランプが再び選ばれ、世界を大混乱に引きずり込もうとしています。何をやり出すか、何を言うかわかりません。予測不能です。今までの常識が通用しません。国際的なルールや取り決めを守ろうとしません。

自由貿易体制、新自由主義、あるいは資本主義自体の限界や危うさがみんな明らかになってきました。

日本で言えば、アメリカに追随してひたすらに言うことを聞くような対米追随、従米外交のあり方が根本的に問われるような状況が生まれてきました。従米外交路線はもうこれ以上続けられないのではないかというような問題が、今提起されています。

福祉国家路線から

新自由主義に転換していった

戦後の国際政治

戦後の国際政治は、最初は修正資本主義的な福祉国家路線でした。ある程度資本のやりたいことを抑えて公的な権力で規制するというような路線でした。

それが70年代から80年代にかけて新自由主義という新しいやり方に代わっていききました。民間活力の發揮、民営化、とにかく資本のやりたい放題にやらせるという方向に代わっていったわけです。規制をなくすことが一番いいことだと、規制緩和が全世界を覆いつくしてきました。日本も80年代中ごろからはこういう新自由主義の方に転換していききました。

資本主義のシステムに代わる

新しい社会の仕組みに

移っていく過渡期

この第二の段階が今終わろうとしているのではないかと私は思っています。

公的な力を利用することによって資本の暴走を抑えなければなりません。

ません。企業が利潤を求めてやりたいままにやり尽くし、世界全体を市場経済に巻き込んでいくというやり方で、はたして地球自体が持続可能なのか。新型コロナウイルス、パンデミック、気候変動の問題。資本が好き勝手にやっていけば、こういう制御できない大きな危機が生まれます。核兵器の問題もそうです。

このような地球と人間社会の存続のためにも解決しなければならぬ課題が大きく我々の前に登場しています。資本主義というシステムはまったくこれを解決できません。解決するにはどうしたらいいかが問われています。そのような新しいシステムや社会の仕組みに移っていく過渡期ではないかと思えます。

過渡期とトランプ政権

第一次トランプ政権で、この過渡期は始まりました。そして、この第二次トランプ政権でこの過渡期は終わるのではないか。

大混乱です。中国から入ってくるモノの関税が140%になれば、今まで100円で買っていたものが240円になり、全く売れなくな

ってしまいます。これ以上関税を上げて意味がなくなりません。この「トランプ関税」は、アメリカの経済自体も破壊することになるのではないかと思えます。

日本は、国際社会の国々といっしょになってアメリカに対してきちんと忠告すべきです。トランプ大統領のいうがままに「ご無理ごもっとも」とつき従うのではなくて。

このままいったらアメリカは国際社会の信頼をまったく失うことになりません。第二次世界大戦後の国際社会で、アメリカが持っていた威信のようなものを投げ捨てることになりません。

五十嵐さんの講演語録



◆「トランプ」というのはめくってみないとわからないものですが、今度のトランプは1期目の実績がありますからどういう政治家なのか、めくらなくてもわかります。◆トランプという人はバットマンに出てくる悪役のジョーカーですね。めくってもめくっても、出てくるのはジョーカーばかり。集めるのが好きなのはダイヤで、ないのはハート。◆自分自身はスペードのエースになったような王様気どりで

問われる 日本の政治のあり方

戦争がやまない

国際社会の中で

平和を維持してきた日本

こういう中で、今日日本の政治がどうあらねばならないのが問われています。

戦後・被爆80年の年ということを確認しなければならぬことは、80年たっても社会は大きな問題を抱えているということです。ウクライナやガザでの戦闘は今も続いています。一時的にガザで休戦が成立したかのように報道されましたが変わっていません。依然としてイスラエルは、ガザに対する攻撃を停止していません。

こういう世界の中でも、日本は独自の平和路線を貫いてきたその成果を、我々は今きちんと確認しておかなければなりません。

戦争がやまない国際社会の中で、日本は平和を維持することができました。戦場になりませんでした。

自衛隊という武装組織が再結

成されたのは残念でしたが、自衛隊は一人も殺さず、一人も殺されずに現在に至っています。イラク・サマールワに陸上自衛隊は出かけていきましたが、非戦闘地域であるという限定のもとでの非軍事的な用務に従事して帰ってきました。PTSD(心的外傷後ストレス障害)という病気で20人から30人の方が亡くなったと言われていますが、戦闘で死んだわけではありません。

戦後の80年、私たちはさまざまな形で、時には「NO!」と言い、「憲法を守れ!」「自衛隊を海外に送るな!」と声を上げ続けてきた成果がここにあります。

戦後80年、核兵器が使われませんでした。これも大きな運動の成果です。ノーベル委員会は、日本被団協が果たした役割を評価し、同時に今、核が使われるかも知れないというリスクが高まっているという状況を踏まえて日本被団協に対してノーベル平和賞を授与しました。このことの意味を、我々はしっかり噛みしめてみる必要があるのではないのでしょうか。

昭和と戦後

今年が昭和100年でもあるわけですが、この昭和100年は戦前と戦後に分かれます。

1925年から1945年までは戦争の時代です。日本は破滅に向かつてどんどん突き進んで行きました。

しかし、1945年に戦争が終わって敗戦の年を迎えました。そこからの80年、日本は戦場にならずに戦争で死ぬ人もいませんでした。

この戦後80年は、1985年までと86年から分かれます。

85年までは、憲法や再軍備をどうするかということであるいろいろな争いがあり、1960年までの前半と60年以降の後半に分かれます。

60年安保闘争で自民党は懲りたわけです。憲法を変えるなどと言ったら国民的な反対運動が起きるから憲法を変えろというのはやめよう、と。現行憲法を前提にした戦後統治を模索するという方向に転換しました。これが60年から85年までです。

戦後の分岐としての 「86年体制」

86年からは変わりました。誰が変えたのか。中曽根康弘です。

中曽根首相が掲げたのが「86年体制」でした。86年に衆参同日選挙が行われました。中曽根さんは「任期満了だが解散はやらない」と死んだふり解散をして、結局大勝利しました。勝ったからご褒美ということ、もう一年任期を延長しました。これを「86年体制」といいます。

この時の選挙は統一協会が絡んでいました。統一協会の会長の文鮮明が膨大な言行録を残していて、それを本にしています。中曽根勝利のために60億円のお金を注ぎ込んで支援をしたということが文鮮明の言行録に書かれています。

統一協会の支援を得て、中曽根康弘が勝利。しかもこの時の中曽根さんは、「日米運命共同体」「日本列島不沈空母」「三海峡封鎖」「シーレーン防衛」、「私の内閣ではやらないけれど憲法改正はいずれ将

来やらなければならない」。…こういうことを言っていました。

中曽根さんが言っていたことは、今はみんな現実のものになりました。まさに今、自民党の大軍拡路線というのは中曽根路線の完成形態に近づきつつあると言っていると思います。中曽根さんが掲げている「軍事大国化」「対米従属」というビジョンは、86年以降も脈々と続き、戦争する国づくりが着々と進んでいます。

専守防衛を放棄して トマホーク400発を爆買い

今までは専守防衛で、攻められた時しか反撃しませんと政府が言っていたのが、攻められる前に攻撃に着手しただけで反撃します。「攻められる前に反撃」というのは日本語としてもおかしいですね。外国の基地や内陸に届くような武器は持たないというのが今まででした(「盾だけで、矛にはならない」)。

ところが、集団的自衛権で同盟国であるアメリカが攻められて危ないとなったら、自衛隊がいっしょ

にたたかうことになりました。

敵国の内陸深くまで届くような巡行ミサイルトマホーク400発をアメリカから爆買いしました。超音速ミサイルも。I2式地对艦誘導弾の改良型を開発しています。どんどん外国を攻めることができるといえるような兵器をかき集めているのが今の日本です。

そうすれば当然反撃を食らうだろうからというので、全国の自衛隊は今攻められてもいいように「強靱化」しています。基地は攻められても生き残れるかも知れませんが、だいたいの基地は街の真ん中にありますから周りにある街は瓦礫の山になってしまっています。

南西諸島は今、どんどんミサイル基地をつくっています。ここも攻撃されるかも知れませんが、危なくなったらすぐに島民を避難させなければなりません。12万人を九州と山口県に避難させるために避難訓練を2026年度中に実施するとしています。

世界から憧れを持って

どんどんやって来る日本に

外国から攻められるようなことがない国になればよいことです。そういう国になぜなろうとしないのか。日本は、世界から憧れを持ってどんどんやって来るような国になりつつあるというのに。

日本は平和で安全、街の中を夜に女性が一人で歩いても大丈夫な国です。自然と四季が豊かで、桜がきれい。大金をかけても死ぬ前に日本に一度は行ってみたいと思われたいような国になぜなろうとしないのか。

中国が日本を攻めようとしたら、中国の人々が「やめてくれ。そんなことをしたら将来楽しみになっている日本旅行ができなくなっちゃうじゃないか」ということで反対するような状況をつくってほしいのです。

東北アジアの外交関係をつくる努力が大事です。話し合いと協調で、敵対の可能性のある国も含めた包括的な安全保障体制をつくり、そしてその中でも日本は友好とインバウンドで東アジアの中でも特色ある世界の中でも一つしかない国として、世界中から友好関係を持つてつきあうことができる

ような国になっていく。これが、9条がめざしている理想なのではないでしょうか。

しかも今は、インバウンドです。今日も奈良は外国の人ばかりです。自国の人が日本に行っているのに戦争なんて仕掛けられません。平和、そして憧れを持って語られるような国になるように政権を代えていかなければなりません。自民党には無理です。

自民党政治の 撃破に向けて

異例の予算成立

修正につぐ修正で予算が成立しました。高校授業料無償化は衆議院で修正され、参議院でまた修正されました。衆参両院で修正されたというのは戦後初めてです。

異例な事態が必要な、異例な政権なのです。

こういう状況が生まれたのはなぜか。少数与党だからです。

野党の言うことを聞かなかったら予算が成立しません。今回も年

度内成立ができるどうかと危ぶまれ、結局3月31日ぎりぎりの成立となりました。

10万円の商品券の

「お土産」問題での陳謝

予算が成立した後の記者会見で、石破さんが最初に言ったのは商品券問題の陳謝でした。

首相側が衆院選初当選の15人の議員に10万円の商品券を配りました。今回だけではなく過去10回ほどやっていて、慣例となっていたのではないかと思われれます。石破さんが幹事長をやっていた安倍政権の時もやってたということです。

石破さんはこれを「お土産」と強弁しました。宴会、懇親会を公邸でやっていて、官房長官と官房副長官も同席していました。政治の話もしているということで、これは立派な政治活動です。これを政治活動ではないなどと言ったら政治活動というのはなくなってしまう。

これを政治活動だと認めれば、政治資金規制法違反だということ

になるわけですが。

飲み食いした食事代が1万5千円だったのに対して土産の方が何倍も多い10万円です。どう考えてみてもおかしい。国民が納得できないのは当たり前です。

自民党にとっても、一度政権を離れて、謹慎して反省する時間を持った方がいいのです。

抜け道だらけの「政治改革」

1997年、政治改革が議論されましたが、あの時合意された「政治改革」は抜け道だらけでした。

それまでに政党助成金や小選挙区制が導入されました。企業団体献金も個人は廃止しましたが、政党はそのまま残したのです。5年後に見直すと合意されましたが、5年後には「見直す」という方針を見直してしまいました。

この時にちゃんと企業・団体献金を禁止していれば、去年のような裏金事件は起きなかったわけですね。自民党にしても、裏金事件で国民の厳しい批判を浴び、政権維持のための過半数の議席を衆議院で失うということもなかったはず。

つげが回ったということです。

今回もまた企業・団体献金を残そうとしています。また同じような問題が、このままずるずると行けば出てくるだろうと思います。骨の髄から腐っているとしか思えません。

それも中央だけではなく、国会議員も地方議員も。自民党の東京都議会議員26人が裏金議員です。

維新の会と国民民主党の裏切り

年度内成立が難しいとみられていた予算が、結局何とか成立したのはなぜか。助け舟を出した野党がいたからです。

野党と与党の間の「ゆ党」。「補完政党」「第二、第三自民党」：いろいろな言われ方がされますが、裏切ったのは維新の会と国民民主党です。

自民党は、この両方を天秤にかけて、こっちの党を使うか、あっちの党を使うかということによって両党を競わせました。結局、権力のおこぼれ競争みたいなのが始まりまし

た。一方の維新は高校授業無償化、他方の国民民主は「103万円の壁」で。

国民生活がたいへんだからということでは予算を修正するということにしたのですが、私はもうこの歳です。だから、高校授業料を無償化されてもあまり関係がありません。高校生がおられるご家庭にはプラスでしょうけれども、一部の関係者だけの恩恵です。「103万円の壁」にしても、私は今働いているわけではありません。非正規雇用のプラスになるといっても関係者は限られています。

4兆円の医療費を削る、当初で言えば、高額医療費助成の上限を引き上げるといったことも認めてしまいました。このような対応をしたために、結局予算が通ってしまっただけです。

政治と金の問題でも

自民党に助け船を出した国民民主党

国民民主党が自民党に助け船を出して、政治と金の問題でも結局、地域の支部や職域の支部なら

企業献金を残そうではないかと
存続することになりました。自
民党の支部は全国に7700あ
りますから、抜け穴が7700あ
るということです。

五十嵐さんの 講演語録 ②

企業献金というのは、賄
賂です。土建企業だったら
公共事業がまわってくるわ
けです。官制の事業が献金
の見返りとして企業に発注
されます。走り出したら止ま
りません。これを官制の(慣
性の)法則といいます。

物価高騰対策として 効果抜群の消費税減税

今、物価高騰対策として消費
税減税は当然です。消費税減税
はすべての国民が助かります。

高校生がいらない家庭だつて助
かります。非正規労働者でなく
て年金生活をしている私だつて
助かります。あらゆる財とサービ
スに反映されていくわけですか
ら、効果抜群です。

全国民だけではなくて外国人
だつて消費税を払っているわけ

すから、あらゆる人にプラスになる
消費税の減税をすべきです。

新型コロナウイルスが蔓延した時
に、全世界の100を超える国や地
域で消費税を下げたり、なくした
りすることをやっています。

ところが日本はやりませんでし
た。

消費税減税の 財源はあります

後半国会では消費税減税が問題
になります。

財源はあります。大企業減税・大
金持ちへの優遇を是正すればいいの
です。アメリカのお下がりのトマホ
ークは400発もいらぬなどとい
うことも日本共産党以外のどの政
党も言わないのも大問題です。

後半国会で厳しく 批判されなければならぬ

4党連携

さらに、国民民主党でいえば原
発推進、日米同盟絶対は自民党と
変わりません。

米不足や物価高騰対策が後半国

会での焦点となりますが、トラ
ンプ恐慌に対する対策、選択的
夫婦別姓問題、政府の思い通り
にしようという学術会議法案に
ついて自民党と維新と国民民
主と公明党の4党がこれから連
携する可能性があります。

こうした4党連携は、
後半国会で厳しく批判
されなければなりません。
*続きは6月号へ

五十嵐さんの 講演語録 ③

自民党の「自」、国民民
主の「国」、維新の「維」、
公明党の「公」

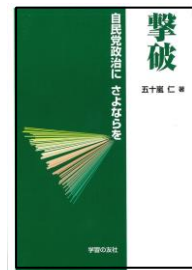
—くっつけて言う
「じごく(へ)いこう
(地獄《へ》行こう)」

最新の五十嵐さんの本2冊
を2割引の各1,000円で奈
良革新懇が扱っています。購
入を希望される方は事務局
の深澤にご連絡ください。



学習の友社、2024年

五十嵐さんの本



学習の友社、2025年

『追撃 自民党大軍拡、腐敗政治
政権交代のために』

『撃破 自民党政治にさよならを』

学習会終了後にJR奈良駅前

「さよなら自民党政治」の街頭宣伝を行いました



奈良革新懇の情勢学習会終了後にJR奈良
駅前「さよなら自民党政治／つこう平和
と暮らしを守る政治／参院選で自民党
政治の大もとを変えよう」の横断幕と奈良革新
懇の幟を掲げて街頭宣伝を行いました。

学習会で講演していただいた五十嵐仁さん
をメインスピーチに、奈良革新懇の賛同団
体や地域革新懇からのショートスピーチも好
評でした。「今の政治に何を望む？」のシール
投票での中学生のみなさんとの対話や外国
人観光客とのスマホ翻訳アプリを使った対話
など、対話的街頭宣伝は楽しい!!

国葬裁判で全国初の証人尋問が実施されます！

奈良安倍国葬反対裁判

奈良地裁 口頭弁論

《日時》7月22日(火)11:00~11:40

《場所》奈良地裁201号法廷

(傍聴席20人)

●東京都が旧統一協会に「解散命令」を出しており、新たな状況が出てきています。岸信介、安倍晋太郎、安倍晋三の安倍三代が旧統一協会と癒着してきたことが明らかになりつつあり、安倍晋三はそもそも国葬の対象者となりうるような人物ではなく、日本を統一協会=勝共連合に売り渡そうとしたことを弾劾する補充弁論を原告側から行います。

証人尋問

《日時》7月31日(木)14:00~15:30

《場所》奈良地裁101号大法廷

(傍聴席70人)

●龍谷大学の太田尚史教授(行政法)の証人尋問(30分)を行います。全国の6地裁(札幌・広島・奈良・鳥取・山口・岐阜)でたたかわれている安倍国葬裁判で、証人尋問の実施は全国初となります。
●原告の松本健さんの本人尋問(15分)

奈良地裁101号大法廷の傍聴席を満席にしましょう

奈良教育大学附属小学校不当出向命令

無効確認訴訟(附小裁判)

第5回 口頭弁論

《日時》5月20日(火)14:30~15:40

《場所》奈良地裁101号大法廷(傍聴席70人)

《集合》14:00に奈良地裁1階集合(14:00までに傍聴券抽選会場に入らないと抽選に参加できません)

*傍聴が抽選となった場合、遠方から起こしの方を優先して傍聴券をお譲りできるようにしたいと考えています。

報告集会

《日時》口頭弁論終了後の15:00から開始予定

《場所》奈良県教育会館4階大会議室

*報告集会の様子はオンライン配信もしますので、希望者は下記のメールにてお申込みください。

nara-edu-net@ae.auone-net.jp

奈良教育大附属小の教育を守る

市民集会Ⅲ

*オンライン配信も予定しています。

《日時》6月15日(日)10:00~12:30

《場所》奈良市中部公民館・5階ホール

<https://manabunara.jp/0000000002.html>

近鉄奈良駅から徒歩5分、JR奈良駅から徒歩10分

《主催》奈良教育大学附属小を守る会

奈良教育大附属学校園教職員組合附属小分会、附小裁判原告・弁護団、附小裁判をともし闘う会、附小裁判を勝たせる会あいちなどと協力して開催の準備を進めています。

署名と学習会の開催を!!

自衛隊名簿提供違憲訴訟

(RYU裁判)

第5回 口頭弁論

《日時》6月10日(火)14:30~

《場所》奈良地裁101号大法廷

《傍聴希望者の受付》13:30~

*傍聴席分の傍聴希望者が受付を済ませた時点で受付が終了します。遅れないようにお越しください。

報告集会

《日時》口頭弁論終了後の15:10~17:00

《場所》奈良弁護士会館・3階会議室

●原告弁護団の中谷雄二弁護士(愛知)が「大垣事件と白龍町DNA抹消事件・名古屋高裁判決の意義」というテーマでミニ講演を行います。

●報告集会にはオンライン(zoom)参加も可能です。

<https://us02web.zoom.us/j/82557538431?pwd=ifH15GBwhxdFwN5FI8S8OZ3QwTAZCL.1>

◆ミーティングID: 825 5753 8431

◆パスコード: 381531

平群メガソーラー裁判で不当判決を原告に言い渡した奈良地裁の裁判長が、奈良安倍国葬裁判も、附小裁判も、RYU裁判も裁判長を務めています!! 楽観は禁物です。

憲法9条守れ! 奈良県共同センターの意見広告ポスターへの協賛を!!

《氏名広告掲載料》

◆団体: 2,000円/1口

◆個人: 1,000円

《氏名広告掲載申し込み締切日》

2025年5月31日(土)

《問い合わせ先》

共同センター事務局の西岡まで

西岡: 090-8238-0419



今回の意見広告ポスター

大軍拡反対請願署名

中南和地域スタート集会

4月26日、近鉄

八木駅前で中央の総がかり行動実行

委員会作成の大軍拡に反対する新請願署名のスタート集会が行われました。この署名を共同の力で大きく広げ、暮らし脅かす戦争の道を阻止することを呼びかけた県内初の取り組みとなりました。



分断NO! 命と暮らしを守る団結を! 今こそ労働組合の出番だ

第96回奈良県メーデー

5月1日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のスローガンを掲げて第96回奈良県メーデー集会がJR奈良駅前広場で開かれました。

実行委員長の松本俊一さん(奈良連議長)が主催者あいさつで、ストライキを構えて65歳からの再雇用

をかちとった労働者のたたかいを紹介し、今こそ労働組合の出番の情勢だと強調。分断に対して、命と暮らしを守る団結を呼びかけました。

各労働組合からの決意表明で、奈教組の西村徹書記長が「教員のなり手が減っている。『定額働かせ放題』を残す法案の廃案を求めたか」と表明。この間、ストライキを行って賃上げと待遇改善でたたかう奈良県医師連の鈴木正光書記次長による医療・介護現場の告発、ならこープ労組の労働者5人による要求の訴えなどに連帯と共感の拍手が起きました。

集会の最後の「団結がんばろう」



集会後、「軍拡反対」、「大幅賃上げかちとろう」とコールの声を上げ、三条通りの繁華街をデモ行進。インバウンドで賑わう観光客や市民にアピールしました。

◆編集後記◆

◆奈良革新懇ニュースとしては異例な8ページ立ての編集。その内6ページは五十嵐仁さんの講演に。情勢を「やさしく、深く」学ぶことに挑戦している奈良革新懇主催連続学習会の記念すべき第1回。その内容を読者のみなさんに伝えようと、2.5時間の録音データを昔ながらの文字起こしをして、気づいたことや整理できたことがたくさんありました。編集の仕事の「お得」はここにあります。◆パワーポイントによるプレゼンテーションに馴染んできた私たちですが、敢えて紙媒体の講演レジュメのみの五十嵐講演には言葉の力がありました。◆次回の浜矩子さんも楽しみです。

奈良革新懇主催 情勢をやさしく、深く学ぶ 連続学習会

日本経済を崩壊させる自民党政治にさよならを 第2回 ~「トランプ」のアメリカと心中してはならない~

オンラインでの講演となります

講師 浜 矩子さん

全国革新懇代表世話人
同志社大学名誉教授
経済学者

時の権力者に一切ひるむことなく、日本を揺るがす「暮らしの危機」の根本問題を浜矩子さんがズバリと語ります。



学習会にはオンライン(ZOOM)でも参加できます。

- オンライン参加を希望される方は下記の招待メールから入室してください。
*オンライン参加の方も参加費500円をいただきます。

<https://us02web.zoom.us/j/88396266924?pwd=xaZJaeGv7tBF84CTZXb5UGRYaCGaMf.1>

- ◆ミーティング ID: 883 9626 6924
- ◆パスコード: 296752

日時 6月7日(土)

13:30~16:00

会場 奈良市生涯学習センター

(学習室 1・2・3)

奈良市杉ヶ町 23
*JR奈良駅中央口から南東へ徒歩約8分

さよなら
自民党政治



参加費 500円

第2回連続学習会終了後に《奈良革新懇主催》の「さよなら自民党政治」の街頭宣伝を行います。

- JR奈良駅前東口広場での宣伝(16:20~17:00)にぜひご参加ください。